

【報道関係者各位】

KEKグループ NKK 日本協同企画株式会社、有限会社 NKK アグリドリーム

『業界初、茨城県初』

日本協同企画株式会社が第6回知的財産活用表彰にて特別賞を受賞

日本協同企画株式会社(本社:茨城県筑西市、代表取締役社長:宮田和男(現役農家))が日本弁理士会主催の第6回知的財産表彰において、イタマーズ式選果機の全国産地での特許活用が評価され、特別賞を受賞致しました(表彰式は1月31日東海大学校友会館(東京都千代田区)にて)。

○知的財産活用表彰とは

経済産業省が主導し開催する知的資産経営 WEEK において日本弁理士会が主催し、知的財産を活用し知的資産経営を積極的に進める企業が表彰される。



○イタマーズ式選果機とは

弊社特許(ベルト式無落差移載技術を基本仕様に殆どの果菜、果実の機種を発明)により、対象となる野菜果実を傷めず最良に選別できる機械。農家である弊社代表が開発したため、極めてシンプルな構造で、ランニングコストが掛からず、何より作物を傷めないのが、従来の大手メーカーが寡占状態だった大型選果機市場を席卷した。現在では北海道小樽から沖縄県宮古島までほとんどの主要産地で350以上のラインが稼働している。弊社選果機が農家や農協が抱えている課題を直接解決するので、新規導入や従来メーカー製品からの更新依頼も多く全国各地で加速度的に拡散している。さらに韓国でも導入実績があり、中国や台湾など海外からの引き合いも多い。また導入産地では、自宅での選別作業がなくなることにより、生産に力を入れることができるので、収量の増大と品質の向上により、収益が増大し、後継者ができた農家や、就業時間が減ることでより健康的な生活ができるようになった農家も多い。このように、弊社選果機は農業界が抱えている課題を解決する一助となっている。

○イタマーズ式選果機活用例

弊社グループの有限会社 NKK アグリドリーム(本社:茨城県筑西市、代表取締役社長:宮田誠)では15年前から特殊な栽培方法を研究開発し、高糖度トマト「スーパーフルーツトマト」のブランド化に成功。スーパーフルーツトマトは自社の選抜した品種に対し特殊栽培方法を考案し、これまで不可能とされてきた大玉で糖度9度以上の高糖度トマトを世界で初めて開発し、農産物では極めてまれな固定価格での安定出荷を可能にした(通常のフルーツトマトは糖度7~8度)。イタマーズ式選果機を利用し、全てのトマトを光センサーで糖度を計測し、高品質で糖度9度以上のスーパーフルーツトマトを消費者に届ける事を可能にし、弊社選果機もブランド化に貢献している。昨年は全国から様々な味自慢の野菜や果実が応募される野菜ソムリエサミットにおいて金賞を受賞した。このスーパーフルーツトマトの初出荷が1月下旬に控えており、既に全国から問い合わせが殺到している。



○取材実績

TBS「あさチャン!」、テレビ朝日「世界が驚いたニッポンスゴ〜イデスネ!!視察団」(選果機の紹介)など他多数

○ イタマーズ式選果機に関するお問い合わせ ○

日本協同企画株式会社(茨城県筑西市門井1705番地)

TEL:0296-57-9689 Mail:isaka@n2k.co.jp 担当:伊坂(080-9978-3987) ※表彰式は次項をご参照下さい

○ スーパーフルーツトマトに関するお問い合わせ ○

TEL : 0296-57-2956 Mail : shogo_yabata@n2k.co.jp 担当:谷畑(070-2630-6305)